取扱説明書番号
E278-CXXZ

CITIZEN®

電波時計　取扱説明書

（照明機能付き電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元　リズム時計工業株式会社

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1310)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品を使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先

お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4RL435」をお伝えください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10 ～ 50℃　*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針　±1秒　時分針　目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒　温度が5～ 35℃のとき
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR6　2個
電池寿命	約1年　受信に成功し、アラーム：30 秒 / 日 自動点灯：明るさ「弱」 7時間 / 日使用時
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
スヌーズ	あり
オートストップ	あり
音量調節	なし
照明	光源　LED
自動点灯	明暗センサーに連動して暗所点灯
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して１２時位置に停止
電池交換時期お知らせ機能	あり　秒針が常時１２時位置に停止
電波受信機能	電波を受信して時刻を自動修正
受信局	福島局 / 九州局　自動選択
受信 ON/OFF	可能
受信結果確認	２５時間以内に受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴る
受信回数	最少　１日１回　最多　１日６回 受信状態により受信回数は変化。
受信開始時刻	2時、３時、4時、12 時、13 時、14 時 各時間帯の１６分２０秒に受信開始 ＊2 時１６分２０秒は必ず受信を行う
防水機能	なし

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
電池 2個　　保証書 1枚　　取扱説明書 本書

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画･製造･販売しています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守る

●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温･高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

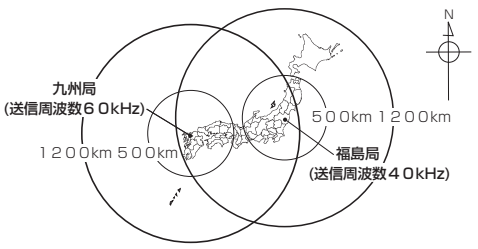
電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（ 太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。**

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

強制受信ボタンを連続して4回押してください。
強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。**
受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

時刻合わせボタンを押しながら、**強制受信ボタン**を押してすぐ離し、その後に**時刻合わせボタン**を離します。確認音が鳴り、照明が点滅します。この後、**必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。**

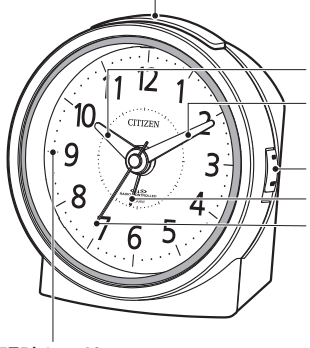
▶時刻は手動で合わせてください。

○**回路内に電荷がなくなると受信機能はONになります。**
○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。
○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
○受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、説明に従って操作してください。
○受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと早送りでおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

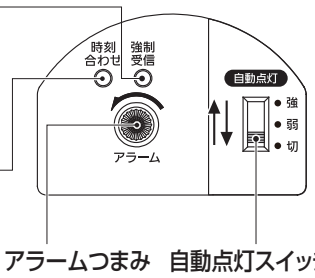
各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

（正面）



（裏面操作部）



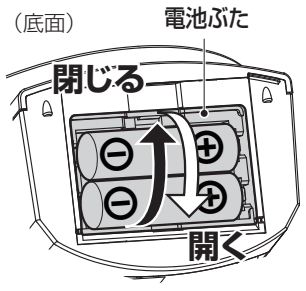
照明について

文字と時針、分針が照明されます。スヌーズボタンを押すと自動点灯より明るくなります。

○明るい所では照明の効果を十分には確認できません。

○文字盤や針のデザインにより光かたが変わります。

（底面）



単3形アルカリ乾電池　2個

電池のセット

電池をセットするときは、電池ぶたを開閉してください。

⚠注意

電池を指示と逆向きに入れると、電池の発熱・破裂・液漏れの原因になります。

1. 使いはじめるとき　電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を2個入れる
確認音が鳴ります。

❷ 強制受信ボタンを押す
確認音が鳴り、**針は**、4、8、12時のいずれかに移動して、**受信が終わるまで停止します。**
誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。

❸ 受信が終わるまで待つ
2～15分後に受信が終了し、針が早送りで時刻位置に移動します。
受信中は、操作ボタンには触れないでください。

❹ スヌーズボタンを押して受信結果を確認する
【受信の流れと結果の確認】参照。
受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。
受信に失敗した場合は、
電波を受信できない場合を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

●確認音は、電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに、「ピィ」と電子音が1回鳴ります。

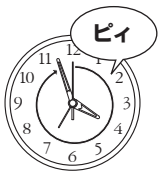
●受信確認音は、標準電波の受信に成功しているときに、**明るい所でスヌーズボタンを押すと「ピィピィ」と2回電子音が鳴ります。**
受信に失敗しているときや電波受信機能がOFFのときには鳴りません。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●地下、ビルの中、ビルの谷間など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

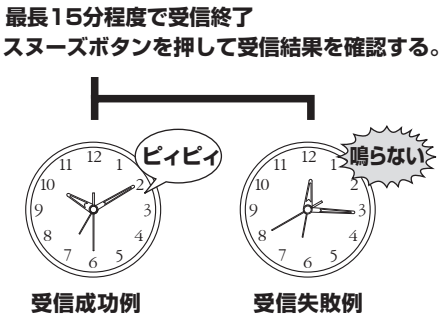
【受信の流れと結果の確認】



強制受信ボタンを押すと確認音が鳴ります。**鳴らない場合は、電波受信機能がOFFになっています。**

4、8、12時のいずれかの時刻に移動して停止して、受信を開始します。

最長15分程度で受信終了
スヌーズボタンを押して受信結果を確認する。



受信成功例　**受信失敗例**

受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

針の動き……通常の時刻表示

時針・分針　：10秒に1回動きます。
秒針　　：1秒ステップで動きます。

※自動受信により、時刻を修正するときに早送りで移動したり、停止することがあります。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
屋外、たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクオーツ時計としてご使用になれます。

2. アラーム機能を使う

■ アラーム時刻の設定

アラームつまみを、**必ず矢印の方向に回して、**アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせます。

●アラーム時刻は10分単位で設定できます。
●アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなることがあります。

操作例　6時20分にセット

アラームつまみを回すと、10分単位に「カチ」とクリック感があります。アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。

必ず矢印方向に回す

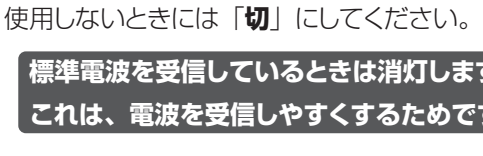
アラームつまみ

アラーム時刻の目盛

■ アラームスイッチの設定

ON　設定時刻にアラームが鳴る。
ONにすると「ピィ」と確認音が鳴ります。

OFF　鳴らさない、鳴っているアラームを止める。



■ スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を停止してからまた鳴り出します。この機能は、アラーム時刻から20～60分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるには、アラームスイッチをOFFにします。

■ オートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。

■ アラーム音を試聴するには

①アラームスイッチをOFFにする。
②アラームの針を時計の時刻に合わせる。
③アラームスイッチをONにする。
アラームを止めるときはOFFにする。

■ アラームご使用上の注意

●アラームスイッチがONのときは、午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
●アラームの音量は調節できません。

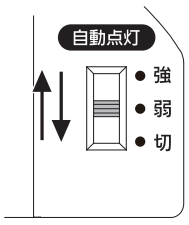
明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、照明の自動点灯

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。また、自動点灯スイッチが「強」または「弱」に設定されているときは照明が点灯します。
昼間や夜間の照明された環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。

照明　自動点灯と一時点灯ついて

自動点灯　明暗センサーと連動して暗くなると自動点灯します。
自動点灯スイッチで明るさの「**強**」「**弱**」を選択できます。
使用しないときには「**切**」にしてください。

標準電波を受信しているときは消灯します。
これは、電波を受信しやすくするためです。



一時点灯　スヌーズボタンを押している間とスヌーズボタンを離してから約4秒間照明します。
自動点灯の「強」よりも明るくなります。

電池の交換時期お知らせ機能　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

十分に明るい所で、秒針が12時位置に停止しているときは㈱、電池の交換時期です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液漏れが発生し、故障や家具などを汚す原因となります。

○交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。

○電池の交換時期になると照明機能が使えなくなります。

㈱ 強制受信ボタンを押して受信しているときを除きます。

⚠ 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

●標準電波を受信できない場合の時間精度はクオーツ精度になります。
●受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。　裏面（**電波受信機能のON/OFF切り替え操作**）参照。

手順　**○時刻合わせボタン**を**押してすぐに離すと1分進みます。**
○時刻合わせボタンを**押し続けると早送りします。このとき秒針は12時位置に止まります。**

㈱ボタン操作をしていないのに、針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離した時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。秒針が12時位置に止まっていないときは、秒針は早送りで現在時刻に移動します。